

保護者等名、住所、児童、生徒
学校名、学年は
4月1日現在でご記入ください。

支援教育奨励費にかかる収入額・需要額調書

保護者等氏名		住 所		児童・生徒名		地方税に 関する照 会に個人 番号を使 用するこ とに同意 します ☒	秋田県立大曲支援学校 中学部 2年	第1類に おける通減率	第1類に おける通減率	(整理番号)		都道府県の地域別区分		学校長認印	
大曲 太郎		秋田県大仙市〇〇字〇〇1-23		大曲 花火								地域の級地区分			
世帯の収入状況		世帯の状況(前年12月末日現在)					需用額等								
		氏 名	続柄	生年月日 (歳)	性別	職業又は 在学学校名・学年 学年コード	教育扶 助 基 準				生 活 扶 助 基 準				
							基準額	教材費	学校給食費	通学費	第1類	期末一時 扶助費	障害者/母子 加算額	※ 第2類	
所得 控 除 前 の	総所得金額	円	大曲 花火	本人	H24.8.3 (13)	女	大曲支援学校 中学部〇年	☒	円	円	円	円	円	円	h (基 準 額) 円
	退職所得金額		大曲 太郎	父	S52.8.1 (48)	男	〇〇運輸㈱	☒							i (地区別冬季加算額) 円
	山林所得金額		大曲 おばこ	母	S56.9.25 (43)	女	専業主婦	☒							j 生活扶助基準計 (e×通減率、f~i の合計)
	計	A	大曲 一郎	兄	H16.7.9 (21)	男	〇〇大学〇年	☒							円
所 得 控 除	雑損控除		大曲 二郎	弟	H26.5.7 (11)	男	〇〇小学校〇年	☒							k 住宅扶助基準 円
	社会保険料		大曲 フキ	祖母	S17.10.10 (83)	女	無職	☒							円
	小規模企業共済等 掛金控除							☐							
	生命保険料							☐							l 需要額 (a~d、j、k の合計)
	地震保険料							☐							円
	ひとり親又は 寡婦控除の額(保護者のみ)							☐							
計	B						☐							収入額 需 要 額	
所得額(A-B)	C	※					☐								D/I=
収入額(C×1/12)	D	※				合 計	a	b	c	d	e	f	g		
通 学 費 明 細	(通学費を要した者ごとに記入すること)							特記事項				支弁区分			
	年 額 1月当りの額							1、Ⅲ段階該当であることを認めます。 2、一切の補助金を辞退します。				特記事項該当			
	円÷12ヶ月= 円							保護者氏名				印			

世帯の状況は
前年の12月31日
現在でご記入ください。

同一生計の家族は
全員記入してください。

個人番号を使用するための
同意欄です。個人番号の提
出をいただいた方は、こちら
の欄へチェックして下さい。
基本的に所得証明書の提
出が不要となります。

(注)1. 支弁区分欄は、特別支援学級の場合は、収入額が需要額の2.5倍未満の者はⅡ段階、2.5倍以上の者はⅢ段階として処理すること。
2. 特記事項欄は生活保護等の該当事項を記入すること。
3. 整理番号は個人別支給台帳の番号に合わせること。

4月1日現在でご記入下さい。全員提出となります。
住所、通学方法等が変わった場合はその都度お知らせ下さい。
備考欄、課外クラブの参加、事業等の利用等もご記入下さい。

交通費所要額調書 記入例

令和7年4月1日現在

学部・学年	児童生徒名	生年月日	満年齢	障害者手帳の有無		通学生・ 寄宿生への別	保護者名	住 所	支弁段階			
中学部 2 年	大曲 花火	H24.8.3	13	身体障害者手帳 有(種 級)	療 育 手 帳 有(A ・ B)	通学生	大曲 太郎	大仙市〇〇字 〇〇1-23				
				無	無	寄宿生						
順路	通学方法の別	区 間	交 通 費							備 考		
			自家用車 使用の場合	交通機関利用の場合								
				片 道 通学距離 (km)	本 人			付 添 人				
	片道 (おとな) 通常運賃	片道 (おとな・こども)	片道 割引運賃		定期券 (往復・片道) (ケ月) 回数券	片道 (おとな) 通常運賃	片道 割引運賃	定期券 (往復・片道) (ケ月) 回数券				
1	(登下校)自家用車	自宅 ～ 刈和野駅	1.2km							回数券・定期券購入		
2	(〃) JR	刈和野駅 ～ 大曲駅		230	230	120	定期券(往復) 1ヶ月2,040円 3ヶ月5,830円	230	230	定期券(往復) 1ヶ月6,930円 3ヶ月19,750円	登下校とも路線バス、 JR利用	
3	(〃) 路線バス	大曲バスターミナル ～ 瀬下		260	260	130	回数券(11枚綴り)	260	130	回数券(11枚綴り)		
4	(〃) 徒歩	瀬下 ～ 学校										

1	(登校) 自家用車	自宅 ~ 保健センター	3.8km							登校時、スクールバスの バス停まで自家用車
2	(〃) スクールバス	保健センター ~ 学校								
3	(下校) 自家用車	学校 ~ 自宅	14.7km							

1	(登校)自家用車	自宅 ～ 学校	15.0km							通勤途中に、 自家用車で送迎
2	(登校)自家用車	学校 ～ 会社	5.4km							
3	(下校)自家用車	会社 ～ 地域サポ ^o ートセンター/川音	3.6km							
4	(下校)自家用車	地域サポ ^o ートセンター/川音 ～ 自宅	16.4km							

1	(登下校)町の福祉バス	自宅 ~ 学校					片道 1回420円				
---	-------------	---------	--	--	--	--	-----------	--	--	--	--

1	(登下校)自家用車	自宅 ~ 学校	28.5km								往復自家用車で送迎
---	-----------	---------	--------	--	--	--	--	--	--	--	-----------

[illegible]

◎裏面「通学経路略図」の記入もお願いします。

自家用車利用申請書						
小学部 中学部 高等部			児童生徒氏名			
2年 1組			大曲 花火			
保護者氏名		大曲 太郎				
住 所		大仙市〇〇字〇〇1-23				
利用乗物種別 車種、ナンバー		トヨタ タウンエーツ 秋田300 あ 1234 (ガソリン・軽油)				
通 学 経 路 の 確 認	(往 路)	主な付添人	氏名 大曲 太郎		続柄 父	
		片道の距離	通勤途中の確認	実測距離 (「自宅～職場」の欄は通勤途中の場合のみ記入)		
			通勤途中ではありません 通勤途中です	自宅～職場 (直接の最短距離)	7.8 km	
				自宅～学校 (直接の最短距離)	16.1 km	
				自宅～スクールバス停	km	
	勤務先名 及び住所 (通勤途中の 場合のみ記入)	会社名 〇〇運輸(株)				
		住 所 〇〇市〇〇字〇〇2-46				
	(復 路)	主な付添人	氏名 大曲 太郎		続柄 父	
		片道の距離	通勤途中の確認	実測距離 (「自宅～職場」の欄は通勤途中の場合のみ記入)		
			通勤途中ではありません 通勤途中です	自宅～職場 (直接の最短距離)	7.8 km	
自宅～学校(直接の最短距離)				16.1 km		
自宅～放課後支援事業施設				10.5 km		
自宅～スクールバス停	km					
勤務先名 及び住所 (通勤途中の 場合のみ記入)	会社名 〇〇運輸(株)					
	住 所 〇〇市〇〇字〇〇2-46					
自家用車を利用する理由		一人で公共交通機関を利用できないため、自家用車で送迎します。 保護者 氏名 大曲 太郎				
校長の意見		1. 自家用車使用を適当と認める。 2. その他()				
支給単価		円	決裁欄	校長	事務長	担当者

通学経路略図

通勤途中の場合は、自宅・勤務場所を忘れずに記入してください。

経路は 赤で 記入してください。

記入例

委 任 状

私は、秋田県立大曲支援学校長を代理人と定め令和7年度特別支援教育就学奨励費の
受領及び返納について一切の権限を委任します。

令和7年 月 日

委 任 者

住 所 大仙市〇〇字〇〇1-23

学 部 ・ 学 年 中学部 2年 1組

児 童 ・ 生 徒 氏 名 大曲 花火

保 護 者 氏 名 大曲 太郎

共 済 掛 金 免 除 申 請 書

年 月 日

秋田県教育委員会

(契約に係る児童又は生徒)
学校名 大曲支援学校 中学部
第 2 学年 氏名 大 曲 花 火
保護者氏名 大 曲 太 郎

令和7年度の独立行政法人日本スポーツ振興センターとの
災害共済給付契約に係る共済掛金の免除について（申請）

独立行政法人日本スポーツ振興センター法第17条第4項ただし書の規定により
共済掛金の免除を受けたいので、次のとおり申請します。

1 免除申請額	(小・中学部) 4 6 0 円 (高等部) 1 , 7 5 0 円
2 免除を必要とする理由	経済的な理由による
※ 校長の意見	

注 ※印の欄に保護者は記入しないこと。